



公民館報

海陽

2月号
No.103

文化村HP
QRコード



QRコードに
アクセスすると
海南文化村HPが
閲覧できます。

海陽町教育委員会 2025年2月1日発行

海陽町20歳を祝う会



令和7年

海陽町20歳を祝う会

司会

令和7年1月2日(木)午後1時から海南文化館ホールで、令和7年海陽町20歳を祝う会を開催しました。84名中64名が参加されました。

綺麗に澄み渡った青空の広がる穏やかな正月の雰囲気の中、成人の皆様を大事に育てて来られた保護者の方々も文化村の会場へお越しになり、晴れやかな式典となりました。

生垣碧天さん

勝浦春菜さん



記念品を受け取る 三浦亜莉紗さん

三浦茂貴町長初め来賓の方々から温かい励ましのことばを受け、出席者を代表し、謝辞と将来への抱負が述べられました。それぞれに新たな門出にふさわしい気持ちが込められていました。

久しぶりの恩師との再会の時間も果たし、旧友とことばを交わしながら、心行くまで楽しい時を過ごしました。

代表謝辞



芝田穂果さん

本日は、私たちのために、このように盛大な20歳を祝う会を開催していただきまして、誠にありがとうございます。また、三浦町長様をはじめ多くのご来賓の方々にご臨席賜り、お祝いや激励の言葉などを頂けたこと、新成人を代表して心より御礼申し上げます。

自然豊かで人情に溢れる素敵な町、海陽町で私たちは育ち成人という新たな節目を迎えることができました。20年間多くの愛情と支援を受けながら共に成長し、その仲間と今この場に立っています。子どもの頃に抱いた夢や目標、そして数え切れない程の学びと経験が、私たちを大きく育ててくれました。当たり前のような幸せも、今まで育ててくれた家族や、苦楽を共にした友達、見守り支えてくださった先生方や、地域の皆様のおかげです。この場を借り、改めて感謝を申し上げます。

成人とは、自らの行動に責任を持ち、社会の一員として役割を果たしていく事だと思えます。私たちは二十歳という大きな節目を迎えましたが、社会人としてはまだまだ未熟です。学生として勉強中の者、すでに就職し日々奮闘している者など、おかれている立場は異なりますが、それぞれが自身の目標に向けて励んでいる最中です。これからは、私たちが受けてきた恩を忘れず、次は誰かを支える側として成長していきたいです。どのような道を歩むとも、誠実な心を持ち未来へと進んでまいります。

結びに、私たち新成人一同がこれからの人生を力強く切り拓いていけるよう、引き続き皆様からの温かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。感謝の気持ちを胸に、社会に貢献できるよう日々精進していく事を誓い、謝辞とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

将来への抱負



皆様、新年明けましておめでとうございます。本日は、私たちのためにこのような素晴らしい式典を開催していただきまして、誠にありがとうございます。ここ海陽町で、皆さんとともにこの瞬間を迎えることができ、大変うれしく思います。

私は現在、京都光華女子大学心理学科に在籍しており、日々勉強に励んでいます。二年生からは、一年生の時よりも学ぶ心理の幅が広がり、本格的に心理学実験の勉強が始まりました。自分の理想であった心理学を学んでいると感じています。具体的には、鏡映描写課題と言

て、鏡に映った図形を正確に異なる心理学の実験課題や、人間の短期記憶に関する実験などを行っています。今後は、実習を受けながら、大学院へ進むための勉強をしようと考えています。将来の夢は、まだ正確には決まっていませんが、大きな病院でカウンセリングをする人になりたいと考えています。何か悩みがある人の力になりたい、悩んでいる人の気持ちに寄り添ってあげたいという思いから、カウンセリングをしたという気持ちが大きくなっていききました。悩んでいる人の未来を明るくしてあげられるような仕事に就きたいと思っています。

この夢をかなえるために、私はこれから人の心に寄り添い、たくさんの人から頼られる存在を目指していきます。また、ここまでたくさんさんの愛情を注いで育ててくれた家族、道標となり大学まで導いてくださいました先生方、困っているときにはすぐそばで支えてくれた友達、温かい目で見守ってくれた地域の方々への感謝の気持ちを忘れずにこれからも歩んでいきたいです。目標に向かって、あきらめず、たくさんさんの経験をしながら成長していきたいです。最後になりますが、今日という素晴らしい日を迎えられたのは多くの方々のおかげです。本当にありがとうございます。また、今後共ご指導、ご鞭撻をいただけますようお願い申し上げます。皆さんの未来が輝かしいものになることを願って、簡単ではございますが、将来の抱負とさせていただきます。本日はありがとうございます。



皆様、新年あけましておめでとうございます。本日は私たち新成人のために、このような盛大な式典を挙げていただき、心より感謝申し上げます。わたしは現在、株式会社デンソーに在籍し、自動車部品の生産に携わっています。就職して三年目を迎えようとしています。具体的には、皆さんが今後乗るであろう自動車の様々な部品を作っています。たくさんさんのよき同僚と上司や先輩に恵まれ、非常に働き甲斐のある時間を過ごしてきました。私は小さいころから物作りをする仕事にあこがれていました。社会人として働き始め、慣れない環境での初めての業務や、私生活においてもすべて自分でやらなければいけないという大きな環境の変化に苦労しました。しかし、仕事を



皆様、新年あけましておめでとうございます。本日は私たち新成人のために、このような盛大な式典を挙げていただき、心より感謝申し上げます。わたしは現在、株式会社デンソーに在籍し、自動車部品の生産に携わっています。就職して三年目を迎えようとしています。具体的には、皆さんが今後乗るであろう自動車の様々な部品を作っています。たくさんさんのよき同僚と上司や先輩に恵まれ、非常に働き甲斐のある時間を過ごしてきました。私は小さいころから物作りをする仕事にあこがれていました。社会人として働き始め、慣れない環境での初めての業務や、私生活においてもすべて自分でやらなければいけないという大きな環境の変化に苦労しました。しかし、仕事を

皆様、新年あけましておめでとうございます。本日は私たち新成人のために、このような盛大な式典を挙げていただき、心より感謝申し上げます。わたしは現在、株式会社デンソーに在籍し、自動車部品の生産に携わっています。就職して三年目を迎えようとしています。具体的には、皆さんが今後乗るであろう自動車の様々な部品を作っています。たくさんさんのよき同僚と上司や先輩に恵まれ、非常に働き甲斐のある時間を過ごしてきました。私は小さいころから物作りをする仕事にあこがれていました。社会人として働き始め、慣れない環境での初めての業務や、私生活においてもすべて自分でやらなければいけないという大きな環境の変化に苦労しました。しかし、仕事を

通して感じたやりがいもいくつ
かあります。例えば、私が作っ
た製品が搭載されている車を街
中で見かけて、満足そうに運転
されているお客様を見ると、う
れしい気持ちになります。また、
上司や先輩方との親睦が深まり、
プライベートで食事や飲み方に連
れて行ってもらう機会が増えた
ことも仕事をするうえで、やり
がいを感じられることの一つで
す。

この会場にいる皆さんの多く
の方が、進学という道を選び、
勉強に励んでおられることと思
います。そんな皆さんも、あと
数年もすれば同じ社会人という
道を歩むことでしょう。そんな
皆さんに、少しばかりではござ
いませぬが、私からのアドバイス
を受け取っていただければなと
思います。社会人というのは、
人生においてほとんどの割合を
占めています。ですから、自分
で選んだ仕事ご自身の今後の
人生を大きく左右します。妥協
や断念をせず、現在学んでいる
ことを最大限に生かし、自分の
夢や目標に向かって本気で突き
進んでください。

最後になりましたが、どんなと
きも自分がやりたいことをそば
で見守り、最後まで応援してくれ
た両親、優しく時には厳しく指導
してくださった先生方、同じ時間
を共に過ごした友人、地域の方々
をはじめ、すべての皆様へ改めて
心より感謝申し上げます。まだま
だ未熟な私たちです。今後とも、
ご指導ご鞭撻のほどよろしくお
願ひいたします。

以上をもちまして、簡単では
ございますが、将来の抱負とい
たします。本日は、誠にありが
とうございました。



新春の気配を身にまとい、ハ
タチという人生の節目を迎え、
この場に立ちますこと、身の引
き締まる思いがいたします。本
日は私たちにこのように盛大な
門出の場を設けていただき、誠

にありがとうございます。

現在、私は、奈良県にある帝
塚山大学経済経営学部に通いな
がら、忙しくも充実した日々を
送っています。これまで続けて
きた大好きなバレーボールに打
ち込み、全国レベルの厳しい環
境に身を置きながら仲間と切磋
琢磨し合う日々は決して簡単な
ことではありませんが、バレー
ボールなくして今の私はありま
せん。これまで十三年間競技を
続け、高校時代には、地元開催
のインターハイや春の高校バレー
全国高等学校選手権大会に出場
しました。時間を無駄にせず、
常に向上心を持つことを教わり、
また、三年次にはキャプテンを
したことで、自分のことよりも
周囲に目を向けることが多くな
り、これまで気付けなかったこ
とに気付けるようになりました。
一人では味わうことができなかつ
たであろう貴重な経験や大切な
出会いは、自分自身と真剣に向
き合うきっかけとなり、また将
来の夢を考えるきっかけにもな
りました。

やりたいことがはっきりとし
ていなかった私は、自分のこれ

までの人生を振り返り、たくさ
んの人の支えがあって生きてい
ることを感じました。その中で、
家族と同じくらい、常に私の成
長を見守ってくれた人の存在に
気づきました。それは、先生で
す。保育所のお遊戯会で親より
も涙を流してくれた先生、受験
を一緒に戦い常に応援してくれ
た先生、家族や友達に話せない
ことでもなぜか話すことができ
た先生、どんな時も笑顔で私た
ちの前に立つ先生。すべての先
生方との出会いは今の私を動か



す原動力であり、大学卒業後は高校教員となり、今度は私がこれまでの経験を生徒に伝えていきたいと思うようになりました。しかし、教師を目指すことは簡単ではありません。それでも私が諦めずに、夢を目指すことができているのは、憧れである私の先生方が背中を押してくるからです。私のこれまでの経験を活かした、私にしか出来ない先生となり、ふるさとで活躍する自分を夢見てこれからも努力



を続けます。そして、先生にふさわしい人間に成長し、お世話になった先生方に成長した姿をお見せしたいです。
 最後になりましたが、どんな時も味方で自分のやりたいことを全力でサポートしてくれた家族をはじめ、これまで関わってくださった全ての方々に向けて感謝申し上げます。ハタチを迎えたすべての仲間たちの未来が、輝かしいものであることをお祈りし、将来への抱負とさせていただきます。本日はありがとうございました。

2025年(令和7年) ^{はたち}海陽町20歳を祝う会名簿 (敬称略)

海南地区

藍崎皓誠
 青川暖瑠
 青木めい
 東昇吾
 畦内慶汰
 伊吹美萊
 上門涼風
 上原拓也
 大田桃夏
 木村彩奈
 兒戸悠飛
 再起成悠
 坂本貴汰郎
 杉本萌音
 田窪優奈
 竹村彰朗
 田中美羽
 谷崎陽

谷村希和
 友廣憲司
 鳥澤明未
 中島舜稀
 西沢日和
 西野康輝
 乃一星南
 乃一滉典
 乃一琉希愛
 橋本美桜
 藤田隆希
 古川雄都
 HOANG THI HUONG
 舛田咲愛
 増田永愛
 松島海七美
 森崎瞭祐
 山口ひなた

山本純也
 吉田悠真

海部地区

逢坂綺愛夢
 角田虹彩
 片岡辰麻
 岸弘光
 NGUYEN QUOC VUONG
 NGUYEN THI HOA
 齊藤虹人
 SAMBATH SREYNITH
 穴戸翼
 芝田穂果
 杉本真仁
 谷口漸
 TRAN VAN CHIEN
 前田夏美
 三浦亜莉紗

穴喰地区

東直弥
 生垣碧天
 池田ひなた
 梅森愛里
 戎田夏子
 大黒愛叶
 大黒彩粹
 大西愛莉
 沖柚季
 勝浦春菜
 金沢美雨
 北山菜々実
 小山真輝
 重田沙紀
 鈴木航大
 高木夏花
 田中稜馬
 鳥潟一太

長井智史
 永禮遼太
 新居愛実
 西口夏花
 野中溪佑
 外立翼
 濱内優耶
 引田珠妃
 藤川茂大
 松島唯央
 松本陽瑛
 村上比奈子

海南地区 39名
 海部地区 15名
 穴喰地区 30名
 合計 84名

令和6年度 共楽運動会を開催して

10月6日(日)、晴天が広がる秋空の下、町内各所で老いも若きもいっしょになって楽しい運動会を開催できました。

中でも平井地区は5年振りの開催となり、終日室内で子どもも大人も夢中になって、楽しい一日を過ごしました。

盆踊り(慰霊踊り)



障害物競走



海部公民館



たいつり競走

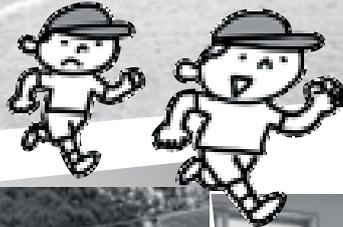
ゆらゆらバケツリレー



川東公民館



分館対抗水リレー



防災リレー

浅川公民館



平井共祭運動会



輪投げゲーム空飛ぶリング

平井公民館



借り物・人探し



太刀踊

宗喰公民館

令和6年度 海陽町文化祭が開催されました！

11月2日(土)から4日(月・祝)の3日間、宍喰町民センター、海部公民館と海部庁舎、海南文化村で、一般の方々や子どもの作品が展示され、例年のように多くの来場者がありました。



お茶席

11月3日には海南文化館でお茶席が開かれ、同日に開催された商工産業祭と合せて、文化の日を満喫されていました。その他いきいき館では、10月26日に囲碁大会、11月4日には第2回柳後亭其雪記念俳句大会、11月5日に宍喰保育所で民話紙芝居、11月23日に海南文化館で海陽町立図書館との共催で今年も「大人のためのおはなし会」が催されました。



大人のためのおはなし会

また、11月10日には、芸能大会が一般の部と学生の部と合同で初めて開催され、若者から高齢者までが思いを一つに最後まで熱演し、会場を盛り上げました。

作品展示

《海南会場》



書道・水墨画・文人水墨画(海南会場)



「海の生物」(海南会場)



竹灯り(海南会場)

《海部会場》



子ども俳句(海部会場)



遊山箱(海部会場)



工作(海部会場)

《宍喰会場》



故梅田純一先生の作品(宍喰会場)



流木アート(宍喰会場)



古着アート(宍喰会場)

芸能大会



海部高校ボランティア部



海部高校郷土芸能部



海部高校器楽部



海陽中学校プラスバンド部



合唱



箏曲



バレエ



民踊



詩舞



ギター弾き語り



和太鼓



三味線

地域コミュニティの中で

―無意識な偏見から共感的理解へ―

社会教育指導員 小泉 博

幼少期に思い出されるのは祖母の存在です。義を重んじ後醍醐天皇に命を捧げた楠木正成の武勇伝をよく聞かされたものです。また、ケガをすると「万能薬」と称し庭に生えているアロエをどんなケガでもぬられました。さらに、悪さをすると、「もんざ(モグサ)すえる」とか

「お遍路さんに連れて行ってもらう。(一緒に修行してこいの意味で、昔は各家の玄関先等でお経を唱える四国巡礼のお遍路さんに、米やさい銭を渡していたこともあった。お遍路さんの風貌から失礼ながら勝手に恐れていた。)」などと脅され逃げ回っていたのを思い出します。

現代では、絵本があり、動画があり、良薬があり、悪さにつける薬はないけれど…。時の流れとともに変化していくその時代時代に様々な風習や言い伝え等があります。そして、時が経

つにつれ、さらに枝葉が付いたり取れたりと言が変化していき、継承すべき素晴らしい伝承もあれば、「はて？」と首をかしげるものもあります。さて、「丙午生まれの女性は気が激しく夫を不幸にする」という迷信や「八百屋お七」の話をご存じでしょうか。(諸説様々あります)

「丙午」の年とは、中国から伝承した60種ある十二支十干の組み合わせの干支の一つで、順番では43番目に当たります。干支は60年で一巡するため、自分の干支が戻ってくる60歳を祝うことを還暦といえます。

この丙午生まれの人は「逆境に強く、行動力がありさっぱりとした性格で自分にも他人にも厳しい面がありますが、勢いのある強運の持ち主。」と言われています。

文献上で丙午生まれに関する

記述が見られるようになったのは、一六六二年以降のことで、始めは「丙午の男性女性は配偶者を殺す」「よめ取りむこ取りに丙午生まれの人を避ける」という記述が残っており、男女の区別なく良くないイメージでしたが、その後一七二六年頃からは女性に関する記述が残り、女性ばかりが悪く記述されるようになりました。

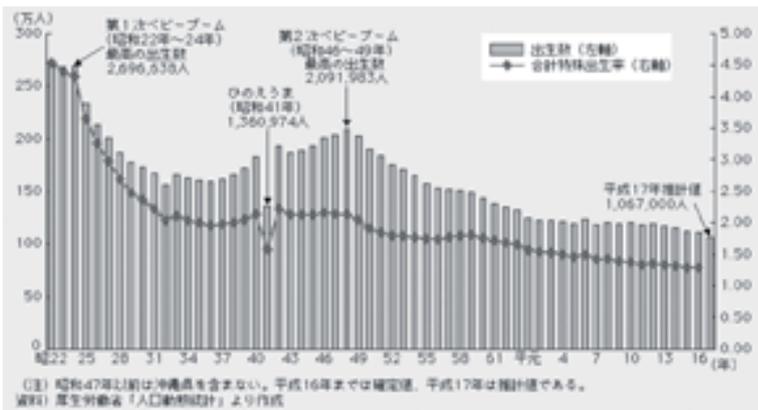
干支が生まれた中国では、丙午と丁巳の年には、天災が多いと言われていました。この伝承が日本に渡り、江戸時代になると「丙午の年には火事が多い」という話に変化しました。

また、「八百屋お七」の物語は、一六八二年、江戸で出会った男性と恋仲になり再会を果たすた



めに放火事件を起こし火刑になったといわれている少女のお話です。現在の放火事件を元に、脚色されたフィクションとされています。

井原西鶴の「好色五人女」等の文学や歌舞伎・浄瑠璃など様々な作品の主人公となっており、この中ではお七が丙午生まれと語られていますが、本当かどうかは分かっていません。この二つが結びついた迷信の影響なの



(注) 昭和47年以前は沖縄県を含まない。平成16年までは確定値、平成17年は推計値である。
資料) 厚生労働省「人口動態統計」より作成

か、明治に入ると「自分は丙午生まれなので結婚できない」と将来を絶望視する女性が多かったとの記載もあり、出生数にも大きな影響が見られました。

60年に1回巡ってくる丙午の年の出生数を見ると、一九〇六年(明治39年)の出生数は、前年比4%減少、翌明治40年は前年比約15%増加。さらにその60年後の一九六六年(昭和41年)の出生数は、前年比約25%減少、翌昭和42年は前年より約40%増加しています。この迷信を信じて妊娠出産を避けた夫婦が多かったとみられ、丙午の年だけがグラフのように異様な落ち込みを見せています。

無意識とは、息をするようにいつの間にかすり込まれ、それが当たり前になり何も感じないこと。様々な人権課題をはじめ、SNS等による人権侵害、誹謗中傷、風評被害等、科学的根拠もなく真実性も疑うことなく、「昔から」「みんなが言っているから」と幻想の世界に陥り、想像力を失った多数派による世間の風潮(偏見)として作り上げら

れ、広まっていくのかも知れません。

人権教育研修講師の持田恭子氏は共感的理解による人権教育の重要性を次のように話されています。

『世の中にある様々な「無意識の偏見」のようなものを少なくしていく、相手の心情を自分に置き換えて察する教育、これが本来の人権教育です。自分事にして想像する力を養って、社会は変わっていきます。道徳教育というのは社会ありきです。子どもたちは社会にあるルールやマナーを暗黙の了解で守り、社会に適応していくためにどうすれば良いかを学ぶのが道徳教育であり、人権教育とは人が持つ権利が何かを知り、それを相手の心情を想像しながら自分事として捉え、共感的な理解をする力をつけることです。』

「先入観や誤解は偏見を生み、偏見からは差別が生まれる」と、生涯をかけて差別と闘ってきた江口いとさんの詩を紹介します。

人の値うち

江口 いと

何時かもんぺをはいて
バスに乗ったら
隣座席の人は私を
おばはんと呼んだ

戦時中よくはいた
この活動的なものを
どうやらこの人は
年寄りの
着物と思っているらしい

よそ行きの着物に
羽織を着て
汽車に乗ったら
人は私を奥さんと呼んだ
どうやら人の値うちは
着物で決まるらしい

講演がある
何々大学の先生だと言えば
内容が悪くとも
人々は耳をすませて聴き
良かったと言う
どうやら人の値うちは
肩書で決まるらしい

名も無い人の講演には
人々はそわそわとして
帰りを急ぐ
どうやら人の値うちは
学歴で決まるらしい

立派な家の娘さんが
部落にお嫁に来る
でも生まれた子どもは
やっぱり
部落の子だと言われる
どうやら人の値うちは
生まれた所によって
決まるらしい

人々はいつの日
このあやまちに
気付くであろうか

(「荊(いばら)を超えて」より)

【出典文献】

徳島県中学校人権教育研究会
「わたしの願い」

令和6年度 海陽町伝統文化継承・地域活性化等補助金事業募集要領

【新規のお知らせ】

・補助対象が増えました。(下記一覧をご参照ください。) ・申請は年度内まで可能です。

【補助金額】

・上限5万円

※ 但し、申請は年1回に限ります。令和6年度内に事業が完了するものについては、随時受け付けますので、この機会を最大限ご活用ください。なお、複数分館にまたがる地域活動の補助も可能です。

【補助対象となる地域活動事例一覧】

① 伝統文化継承・地域活性化
地域住民が主体となって行う年中行事や祭事などの参考事例 ○盆踊り ○左義長 ○こいのぼりを活用した地域活性化 ○おひなさまを活用した地域活性化 ◎祭りに使用する鉢巻、ハッピー、長パッチ、帯、袴 (但しクリーニングは対象外)、祭りの時の飲み物 (ジュース・お茶)、祭りに参加した子どもたちに配るお菓子
② 地域的な共同活動
○環境整備活動 (地域の避難路や道路など、分館周辺の地域の草刈りや側溝清掃) 用具や燃料、除草剤、作業時の飲み物 (ジュース・お茶) 等 ○避難、炊き出し、避難所運営訓練 テント、食材、薪、段ボールベッド 等 ○備蓄倉庫備品購入に併せた防災訓練や保存食の試食体験 椅子、保存食、保存水、ガソリン
③ その他
○共楽運動会等分館が参加する社会体育の振興、親睦 テント、椅子、テーブル 等 ○高齢者や子どもなどが集まり易い施設の軽微な環境整備や修繕

詳しくは、下記へお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】 海陽町教育委員会 地域つながり課 地区公民館各担当者まで
 海陽町四方原字杉谷73 電話：0884(73)3100

町内年末ふるさと清掃より



清掃時に各種伝達を行った浜分館

町内各地で年末ふるさと清掃を、12月上旬に実施しました。空き缶等や草木、海岸に打ち上げられたゴミを収集し、綺麗になりました。毎年この時期に行っています。皆様大変お疲れ様でした。



収集されたゴミの一部



分館の
活動紹介

令和6年10月25日(金)に久尾の秋祭りを行いました。今年は話し合いの結果、30年振りに神輿みこしを担ごうということになって、地元の氏子と移住者、又その関係者が担ぎ手となり、復活しました。

総勢30人を超える参加者が集い、氏神である湊神社から出発し、各氏子の家々の前を通り、野根川みてぎで禊みそぎをして、再び神社へと帰り、その後は会食となりました。



また、春の季節には、桜の枝を切ってきて生け花にして、皆が公民館に寄り、花見会を行っています。今回、神輿の復活にあたって、白装束しろしょうぞくが朽ちて着ることが困難であったので、伝統文化継承・地域活性化等補助金を用いて購入しました。

地元民と移住者が結束して、新たな伝統文化の継承が実現したことはとても嬉しいことです。綺麗な野根川の水を求めて、移住される方が増えてきました。

当地の水を沸かして飲むコーヒーの美味さは格別です。皆さん、清流の郷、久尾に来てください!!

久尾公民館長 石本恭之

全国公民館研究集会香川県大会に参加しました



10月17日(木)～18日(金)、『第46回全国公民館研究集会香川県大会兼第46回中国・四国地区公民館研究集会香川大会』に、海陽町から5名が参加しました。

「今こそ公民館 ～より良い地域の実現を目指して～」がテーマに掲げられ、会場のレグザムホール(香川県県民ホール)で全体会と翌日の分科会を聴講しました。記念講演では、

コミュニティとしての公民館を、よそから来た人と地元住民とがつながる場所と捉え、瀬戸内国際芸術祭等を事例に、個々の風土を生かして新しい価値を見いだそうとする先駆的な取り組みを学びました。

その他、公民館で自主的な各種教室活動を楽しんで継続している事例に接し、今後の公民館活動に活かしていければと考えています。

町指定史跡「海部城城の鼻」でお花見式

城満寺住職 田村航也



令和3年12月12日(日) 第1回集合写真

桜色に染まった、海部城。海部城保勝会が海部城の樹木を整備し、植樹した桜の木が、見事に花開いたのです。4月7日、海部城の城の鼻にて、満開の桜の中で、江戸時代判形人の主である森志摩守の供養式とお花見会が催されました。

「海部城跡」は、海陽町指定の史跡になっています。海部城は、室町・戦国時代の領主、海部氏の居城でした。江戸時代の絵図によると、海部川はこの丘の西側のちようど城の鼻で分かれ、海部城は周囲を川によって囲まれていました。海部城には遺構として、曲輪のほか石垣・土塁・竪堀等が残っています。城の規模は県南部で最も大きな城となっています。

町指定史跡に限らず、史跡は保全することを旨とし、現在に伝わっている現状の変更を極力避ける形でさらなる後世に伝えることを最も大切にしています。しかし、過疎化の進行と若者の不在によって、それぞれの地域で伝えられてきた史跡の言い伝えや環境保全は途絶えがちになり、埋もれて

しまう危機に瀕しています。

そこで近年、国をはじめとして、文化遺産の保全を前提とした上での利用が呼び掛けられています。もちろん、私たちの文化遺産は本来、使うことを目的として生み出されたものですが、伝統的な使用者がごく少数になってしまいう状況に追い込まれた現在、文化遺産を従来の使用者だけでなく、広く一般に開放することによって、その意義を再認識し、途切れることなく後世に繋げていこうという呼び掛けです。

これにはもちろん、賛否両論があるでしょう。当然これまでどおり、伝統的な使用者（神社の神輿や、寺院の本尊などの担い手）に限って伝えていくことが必要な文化遺産も数多くあります。一方で、一般に開放することによって外部の人たちが集まり、それによって地元の私たちもその文化遺産の意義を再確認することもあると思われれます。ただしその場合にも、オーバーツーリズムを避けて、文化遺産や史跡の環境が損なわれないように、細心の注意を払う必要があります。

今回行われた供養式とお花見会は、その意味で、理想的な形でなされた文化遺産の開放と言えるでしょう。森志摩守および判形人の供養は、元来は判形人の間だけで行われてきたものであり、判形人の関係者以

外に供養式は開放されていなかったはず。しかし、江戸時代の海部における判形人の重要な役割を理解していただき、その歴史を伝える森志摩守墓所にて供養式を一般に開放して行ったことは、町指定史跡の健全な形での保全を図る目的に沿ったものと言えるでしょう。

続いてのお花見会も、町民有志で力を合わせて整備した海部城跡に咲き誇る桜の美しい風景を楽しみながら、かつて地域の中であり象徴であった海部城に海陽町民としての誇りを新たにするものでした。参加されたのは、町長、県議会議員、町議会議員、町民だけでなく、森家当主をはじめとした阿南市、徳島市等町外の方々も参加され、城の鼻にちょうど収まる、良い規模で開放された地域の催しとなりました。

観光産業の育成が日本全国で叫ばれて久しい感がありますが、通り客を外から呼び込もうとすればするほど、私たち町民との接点が希薄になってしまふ感があります。町内の文化や歴史、自然を外に向かって売り込んでも、それ目当てに観光しに来た人々と私たち町民とは、接する必然性が少ないのではないのでしょうか。もちろんそのような観光を入り口にして、さらに深く海陽町に接してくださる方々も多数おられますが、私たち町民は、経済的なことより他に、

無言で通り過ぎる観光客にどこまで親しみを感じられるでしょうか。

観光とは、光を觀に来ることです。光というのは、私たち町民が光っているということ。私たち町民が楽しむと、面白く（明るい顔で）光っていると、そこに、観光の人が寄ってくる、そこそが真の観光ではないでしょうか。そのためには、私たち町民が面白く光ることができ、これが最も大切なところだ、と思うのです。

森志摩守の供養では皆で香華を供え、続くお花見で、皆が面白く光っていました。町外からもお声掛けした方々や、通りすがりの旅人も、集っていました。観光の原点が見えた、という思いがあります。文化財の保全を前提とした利用も、このようにしっかりと町民に守られた形で進めていくべきことではないでしょうか。海部城跡のお花見、今年はどうぞ皆様も楽しみに来てください。



令和6年4月7日(日) お花見式

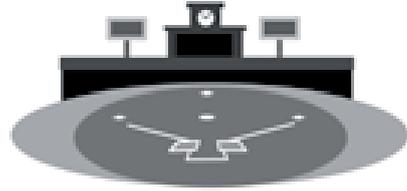
南部Aブロック中学校新人大会 結果

【令和6年9月28日・29日】

【野球】 会場…蛇王球場

〈決勝〉

宍喰・海陽・牟岐・日和佐 0－8 相生・鷺敷



【バレーボール】 会場…とくぎんトモニアリーナ那賀

準優勝 宍喰・日和佐(1勝1敗)

宍喰・日和佐 0－2 勝浦・上勝

宍喰・日和佐 2－0 相生・鷺敷



【バスケットボール】 会場…海陽中体育館

〈男子〉 優勝 海陽・宍喰・牟岐

海陽・宍喰・牟岐 81－18 勝浦

〈女子〉 優勝 海陽・牟岐

海陽・牟岐 48－47 勝浦・上勝



【卓球】 会場…相生体育館

〈男子団体〉 優勝 海陽中

海陽 4－1 上勝 海陽 5－0 由岐

〈女子団体〉 準優勝 宍喰中

海陽 0－5 宍喰 海陽 0－5 鷺敷 宍喰 0－5 由岐

宍喰 2－3 鷺敷 海陽 1－4 由岐

〈男子シングルス〉

1位 田中孝宗(宍喰)

3位 山本耕誠(海陽)

4位 射場春光(海陽)

〈女子シングルス〉

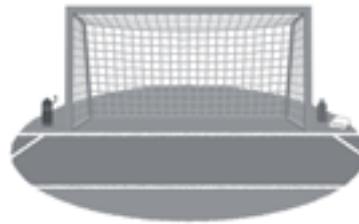
1位 伊丹香里奈(宍喰)

2位 中口 凜(宍喰)



【サッカー】 会場…松原グラウンド

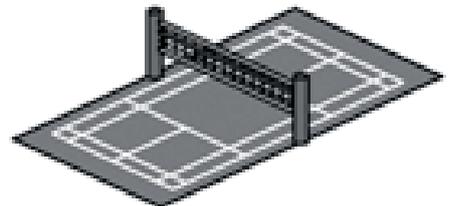
優勝 海陽・宍喰 海陽・宍喰 2－1 日和佐



【バドミントン】 会場…日和佐総合体育館

〈女子シングルス〉 優勝 山本怜奈(宍喰)

〈女子ダブルス〉 準優勝 山本怜奈・正木咲帆(宍喰)



第78回 海部郡中学校駅伝競走大会 結果

【令和6年10月23日・日和佐コース】

[男子(3km)]

4位 海陽A 70分56秒

(坂本風樹①、伊勢田海②、山本耕誠②、菅本晟孝③、大久保篤②、島田侑真③)
10分44秒 11分22秒 11分15秒 13分38秒 11分57秒 12分00秒

5位 穴喰 71分52秒

(上田悠翔③、西尾來翔②、井上颯太②、生垣 暖①、小泉 純③、落合遼河③)
10分42秒 13分43秒 11分41秒 11分43秒 11分57秒 12分06秒

8位 海陽B 75分51秒

(勝浦虎丸②、西岡 積②、田中結佑①、尾崎壮真①、鑑比那太③、長尾哲路①)
11分42秒 13分58秒 12分23秒 12分33秒 12分24秒 12分51秒

[女子(1区3km, 2~5区2km)]

3位 穴喰 47分18秒

(白濱柚子③、戎谷貫那②、平岡穂香①、伊丹香里奈①、戎田花生②)
12分46秒 8分33秒 8分35秒 8分43秒 8分41秒



【ロードレース】

[男子(3km)]

1位 南勇太郎(穴喰①)
(12分02秒)

4位 重村 優(海陽①)
(12分27秒)

5位 大黒彩多(海陽①)
(12分30秒)

6位 池田 晴(穴喰③)
(13分05秒)

7位 小南健太(穴喰③)
(13分29秒)

8位 野村秋太郎(穴喰③)
(13分32秒)

[女子(2km)]

2位 山本怜奈(穴喰②)
(8分35秒)

3位 岸本沙奈(海陽①)
(8分38秒)

7位 正木咲帆(穴喰①)
(9分33秒)

令和6年度 徳島県中学校軟式野球秋季リーグ中央大会

【11月24日(日) むつみ球場】

準々決勝 海部連合 2 — 1 小松島中

【11月30日(土) むつみ球場】・・・県ベスト4

準決勝 海部連合 0 — 1 勝浦中



県中新人卓球大会・団体

【12月25日(水)】

(女子) ベスト8 2回戦 海陽・穴喰 3 - 2 川内
3回戦 海陽・穴喰 3 - 1 小松島
準々決勝 海陽・穴喰 0 - 3 城東A



木製遊具等が設置されました！

日比原の日山会館裏に、森林環境譲与税を活用して木製遊具等を設置しました。憩いの場にご活用ください。



わが町の史跡探訪

てらやまこふんあと 【寺山古墳跡】

海部川に合流する母川の北岸に開けた野江地区の田んぼの一角に寺山古墳跡がある。現地に行くと、墓地の傍らにかつて古墳が築かれたことを示す説明板が立っている。旧母川が蛇行する氾濫原には以前独立丘陵があったが、寺山古墳はその上に築かれていた。圃場整備のため、発掘調査の後に消滅した古墳跡である。



寺山古墳跡遠景(墓地背後の丘)

寺山1号墳は、片袖式の横穴式石室を持つ6世紀中頃の円墳であることが確認された。墳丘からは懸垂鏡片が2点出土した。中国大陸の後漢時代に流行した内行花文鏡に由来している。また、付近の祖父の木神社に1号墳の出土品と伝わる須恵器の提瓶が祀られていた。海陽町内には6世紀から7世紀にかけて造られた後期古墳として、北から遠坂古墳、大里古墳群、寺山1号墳、穴喰古墳が分布する。海に近い立地の観点から、これらは海部(アマベ)集団の有力者たちが葬られた古墳ではないかと見られる。

寺山3号墳は全長26mの「前方後方墳」で、1号墳よりずっと古く、古墳時代前期(3世紀後半～4世紀)頃までには築造されたと考えられる。寺山古墳跡の北東に隣接する芝遺跡では、弥生時代終末期より古墳時代前期前半頃を含む各地から運ばれた土器が大量に出土した。県内の鮎喰川下流域の他、県外では大阪湾沿岸の河内、瀬戸内沿岸の讃岐や吉備、隣国の土佐等から運搬された土器群である。炊飯に用いる甕が多く出土し、前記した寺山3号墳の造営に共働した労働者が遺した土器群を含む想定が可能である。葬られた人物は、格別に広域にまで影響力を持つ程の相当有力な人物だったのではないだろうか。

こうした事から、寺山3号墳と芝遺跡は一体的に理解する必要がある。魏志倭人伝等に記された邪馬台国の女王卑弥呼の時代を考えるうえでも又興味深い情報を含む大切な遺跡である。なお寺山2号墳については調査の結果、古墳以外の遺構であるかも知れないと報告されている。(参考文献:『寺山古墳』1980年、海部町教育委員会、『芝遺跡』2006年、海部町教育委員会、橋本輝彦「ヤマト王権と海陽」2024年) ※弥生時代終末期の墳丘墓とする説もある。

『スポーツ推進委員優良団体』で表彰されました!!

11月14日(木)・15日(金)の2日間、宮崎市のひなた武道館で、第65回 全国スポーツ推進委員研究協議会が開催されました。

「海陽町スポーツ推進委員会」が町の地域スポーツ振興に多大な貢献をしているとして、活動実績が高く評価され、表彰されました。

楽しく健康に生きるために、より良いスポーツをこれからも町に提供していきます!



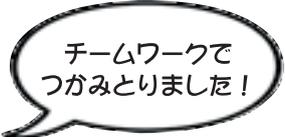
分館対抗ミックスソフトバレーボール大会

11月12日(火) 於：海陽中学校体育館

11月12日、川東公民館が「分館対抗ミックスソフトバレーボール大会」を海陽中学校体育館で開催しました。計6チームが集まり、さまざまな年代の人が熱戦を繰り広げました。地域内の交流を深める良い機会となりました。



優勝した浜崎チームのみなさん



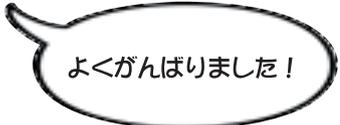
体育協会杯 第1回海南CLUB主催 ニコニコ819大会

11月30日(土) 於：海陽中学校体育館



第3位の海南CLUB(Aチーム)と海南CLUB(Bチーム)のみなさん

11月30日、海陽中学校体育館で「体育協会杯 第1回海南CLUB主催ニコニコ819大会」が開催されました。東洋町や阿南市から多彩な顔触れが揃うなか、地元チームの海南CLUB(Aチーム)が第3位の成績を収めました。



※6人制のバレーボールの大会です。

海陽町体協サーフィン部 NEWSと試合結果

2024年8月～

2024年8月24日

かいようサーフィン体験が行われました。親子で参加の方も子供もみんな笑顔いっぱい波に乗れました。



試合結果

〈アマチュアの試合〉



*2024 アジアサーフィン選手権大会

8月17日～8月24日 モルディブ共和国

NAMINORI JAPAN 日本代表 OPEN MEN

4位 金沢 太規 (海部高校3年)

男子団体

2位 TEAM NAMINORI JAPAN

アジアの強豪ひしめくなか、日本代表として大健闘でした!!

*第58回 全日本サーフィン選手権大会

9月23日～29日 宮崎県宮崎市木崎浜海岸

- ・ショートボードウィメン
シニアクラス 優勝 田中 亜弥
ジュニアウィメンクラス 2位 上門 涼風
- ・ショートボードメン
ジュニアメンクラス 2位 野中 湊佑
- ・パドルリレー 徳島支部 3位 (第1走者…金沢 太規、第5走者…西野 拳史)



シニアクラス優勝

田中 亜弥選手

*第20回 マスターズサーフィン選手権大会

10月11日～10月13日 神奈川県藤沢市鵠沼海岸

- ショートボードウィメン
シニアクラス 優勝 田中 亜弥



パドルリレーメンバー

★ 田中 亜弥選手はクラス別年間ランキングでも1位となり、ショートボードウィメン シニアクラスの年間チャンピオンにもなりました!!

令和6年度 海陽町文化・体育功労賞授賞式

令和6年12月16日（月）に、海陽町文化・体育賞の表彰式が阿波海南文化村で行われました。文化功労賞の谷 育子さん、文化奨励賞の松本 由希子さん、体育奨励賞の一山 涼夏さんの3名に、町長から表彰状と記念品が授与されました。



受賞者の紹介…松本 由希子さん、谷 育子さん、一山 涼夏さん

表彰の概要

【文化功労賞】

谷育子さんは、日本美術展覧会 入選、徳島県美術展 特選、日本新工芸展 近畿読売テレビ賞など数々のかしい成績を収められ、染色工芸作家として高い評価を受けています。また、制作と並行して、福祉施設・特別支援学校で美術指導をされているほか、海陽町立博物館における企画展、町内外で個展を開くなど、地域文化の向上に大きく貢献されています。

現在、工房安樹 代表、日本新工芸 会員、日展 会友。

【文化奨励賞】

松本由希子さんは、書家として、日本美術展覧会 入選、徳島県美術展 準特選、書道放美賞など数々の展覧会等において輝かしい成績を収められています。町内においては子どもから大人まで幅広い世代を対象に書道教室を開催、多くの後継者を育成されています。また、海陽町文化祭にて展示を行うなど、書道の普及活動に努められています。

現在、読売書法展 幹事、朝陽書道会 常任理事などを歴任。

【体育奨励賞】

一山涼夏さんは、海部高等学校陸上部に所属し、やり投や円盤投などの投てきを専門とされています。令和6年6月に実施された徳島県高校総体では、女子やり投において39m73という記録で優勝しました。同月高知県で開催された四国高等学校陸上競技対校選手権大会 女子やり投で第7位、8月に愛媛県で実施された四国陸上競技選手権大会においては、大学生や社会人が出場する中、女子やり投で40m65という記録で4位に入りました。

青少年育成徳島県民会議 第70回青少年非行防止県下中学校生徒弁論大会
令和6年度少年の主張徳島県大会

—アスティとくしま ときわホール 令和6年9月20日(金)—



「自分を好きになるために」

〈優秀賞〉 穴喰中学校3年 中口 梨緒

みなさんは、自分の性格は好きですか？私は、あまり好きではなく、どちらかというと嫌いです。その理由は、自分の性格が原因で人間関係がうまくいかなかったことがあるからです。

私は、「曲がったことが嫌い」な性格です。だから、小学生の頃、私は周りの人に対して、気になったことがあればよく注意をしていました。担任の先生の連帯責任という指導もあって、自分たちのクラスを少しでもいいクラスにしたい、みんながきちんとルールを守って過ごしやすいクラスにしたい。そう思って注意をしてきました。でも、注意される人からすると、同級生に何度も注意されるのは、嫌な気持ちになったのだろうと、今となっては思います。

あるとき、私がクラスの中で嫌われていることを耳にしました。理由は、私がクラスメイトに注意をすることに対してうっとうしく感じていたからだそうです。それを聞いたとき、本当に悲しい気持ちになりました。よかれと思ってやっていたことが、裏目に出ていたこともショックだったし、それが原因で人に嫌われるようになってしまったという事実を、このときの私には受け止める強さなどありませんでした。

それ以降、私は自分の性格や自分自身が嫌いになってしまいました。そして、もっと違う性格の方がよかったと考えてしまうこともありました。ささいなことは気にせず、ただ楽しく過ごせたいと思える性格なら、周りの友達に嫌な思いをさせず、自分のことも好きになれたのかなと。

中学生になって、私は卓球部に入部しました。部活では、顧問の先生からたくさん注意をされます。日によっては、悲しくなったり、イライラしたりすることもあります。でも、たくさん注意されるからその先生のことを嫌いになるということはありません。先生は私をもっと強くなれるように、もっとうまくなれるように指導してくれている、とわかっているからです。私はこれまでクラスメイトを注意していたから嫌われていたと思っていましたが、実はそれだけではなかったのではないかと思うようになりました。自分の言動を振り返ってみると、きつい言葉を使ったり、普段そんなに会話をしないのに注意だけはしたり、相手が嫌だと感じるような注意の仕方をしていたのではないかと…。相手の気持ちに寄り添った伝え方が自分には足りなかったことに気づきました。

中学3年生になって、自分の性格に対する認識が少し変わる出来事がありました。それは職場体験学習です。私は先生という仕事に興味があったので、小学校の先生の体験をしました。先生の仕事はとても大変で、することがたくさんありましたが、私は仕事にやりがいを感じました。やるべきことをしっかりすること、注意しなければいけないことを小学生に寄り添って伝えるように注意することなど、自分が嫌だと思っていた性格が、この仕事をする上では大切なものなのではないかと思いました。

私は、この職場体験を通して、自分らしく、人の気持ちを考えた言動を取りながら、人の役に立てるという経験をすることができました。そして、これまでの生活の中で、嫌いになっていた自分の性格を、少しだけれど受け入れることができたように思います。

また、一つのことでもよくよせず、いろいろなことにチャレンジすることも大切だと思います。たくさん経験をして、いろんな角度から自分を見て、自分のよさを見つけられる機会をふやしていきたいです。そして、自分自身のことと、人に寄り添って行動することの大切さを、さらに理解していきながら、自分自身をもっと好きになっていけたらいいなと思います。



図書館長からみなさまへのお手紙(1)

海陽町立図書館長 田村 航也



こんにちは！私は、今年度の4月から図書館長に就任しました、田村航也（たむら・こうや）と申します。今日でほぼ1年間、輝かしい実績と伝統ある海南図書館、穴喰図書館の両館に館長として働かせていただいております。

海南図書館は、どんな図書館でしょうか？昭和54（1979）年に開館し、今の建物は昭和61（1986）年3月25日に竣工して6月11日に開館しましたので、今年で39年目の図書館です。当時の「谷原向上図書館」や、各公民館などから本を寄贈されて開かれました。海南小学校出身の方には、たくさんの思い出があるのではないのでしょうか？

穴喰図書館は、図書館を作りたいという町民の考えと働きかけをもとに、平成11（1999）年に開館した図書館で、今年で26年目の図書館です。玄関脇には化石が展示されており、また、日本文学研究家のドナルド・キーン氏と穴喰の深い関係から本の寄贈を受けていて、ドナルド・キーン文庫としてまとめて手に取ることができる、素晴らしい図書館です。

海南・穴喰の両図書館とも、町民1人あたりの貸出冊数は、今にいたるまで連年、県下第1位です！これまでの歩みをふまえ、両館それぞれの特色を活かして、町民のみなさまのご要望に応えるには図書館がどうあるべきか、考えて行動してまいります。みなさまのリクエスト、ご要望を、ぜひお寄せください！どうぞよろしくお願いいたします。

長江浩『喜寿展』を開催して



昨年9月14日～10月14日に、奥浦出身の図案家・染色家・書家として京都へ出てご活躍されている長江浩さん（長江高僊）の喜寿をお祝いした展覧会（後援：海陽町立博物館・海部東中学校37年度同窓会・海部高校書道部）が海陽町立博物館で開催され、連日旧友をはじめ数多くの来館者で賑わいました。



穴喰俳句会 十二月例会より

なぞ解きのひとつ解けたる夜長かな

梅田千恵子

参道の長さをぐずり千歳飴

北山八重子

ロボットの運ぶランチや十二月

川野佳代

受付に座る半日文化の日

新井久実

四、五人のプラネタリウム十二月

間戸谷恵子

冬麗や川面にももの影ゆるる

高戸眞理子

空と海つないでみたり冬夕焼

寺崎照代

郵便配達小春を連れて戸口まで

新井駿也

茶の花やひ孫は衣音いとと名付けられ

長岡達江

京菓子の老舗にたたむ時雨傘

住戸美鶴

曇りの日クレヨンで描く冬りんご

山本球子

夫をまつ女ばかりの浜焚火

元木朱子

みのこづち幼馴染で悪友で

外山千佳

時雨けりひとりを外を見てをれば

木下野生

海南俳句会

ふつふつと朝の練炭みそを焼く

藤川はやみ

はらからも知らぬ葬とや冬ざるる

山本としお

茶室へと誘う柿の落葉かな

若山恵美子

友と居てしゃべりも途切れ冬日向

山本半途

目を剥きて河豚提灯のふくれけり

田中霜月

秋の旅灯ともし頃の街通過

橋本董

味噌汁に白き湯気立ち冬に入る

森弥生

冬の寺木枝の音真直なり

吉田なずな



海陽短歌会

水門の工事着々進みいて見知らぬ浜になりはてており

桑村 未貴子

晩秋に深紅の櫛はせのいろどりは道ゆく人の足をとどめり

大久保 スエ子

祖母の顔は思い浮かべどいつしかに声を忘れし五十回忌

藤川 はやみ

立ち止まり振り向きてまた仰ぎ見る校庭に立つ銀杏の黄いろ

土谷 公代

時々は遺影の父母に会いに行く愚痴をこぼせば笑みて聞きおり

蛭子 美恵子

紅葉狩りバスに揺られつつ童謡を声高らかに歌う楽しさよ

栞岡 節子

迷い猫もあずかり犬もいるわが家ペットショップのごとき日にちにち

細野 綾子

にぎやかにラインの音が入りますピンポン仲間寒さに負けず

小笹 仁子

海部俳句会

手て漬ばなかむ農夫の影絵秋の夕

南 歌子

目をむいてとんで来るなりいぼむしり

佐藤美代子

春を待つ歩き始めたひ孫かな

穴戸 道子

なるようになっていっている感じのみかん

川野 照美

新しい組閣人事や冬夕焼

穴戸 保夫

掘り炬燵西のふすまに日の名残り

麻 三

蝋燭も我身も溶くる臘ろうはちえ八会

山 桜子

山裾の陰に冬田の眠りをり

西本 公明

古文書の読み方講座

〈会場〉阿波海南文化村 大会議室 定員二十名

〈受講時間〉13時30分～15時30分(10分休憩有)

〈日程〉

令和7年2月8日(土)

「海部取調回在録」を読む 講師：金原 祐樹氏 (徳島県立文書館)

令和7年2月22日(土) 講師：徳野 隆氏 (徳島県立文書館)

「御役人様がやってきた」 講師：徳野 隆氏 (徳島県立文書館)

令和7年3月15日(土) 講師：嵐 大二郎氏 (徳島県立文書館)

「暇証文」を読む

〈受講料〉無料 予約不要

ご希望の方は当日会場へお越し下さい。



令和6年度 海陽町公民館大会のお知らせ

テーマ「今こそ公民館」

～より良い地域の実現を目指して～

令和7年 **3月2日(日)**

会場 阿波海南文化村 海南文化館ホール
主催 海陽町公民館
後援 海陽町教育委員会・海陽町
参加者 町内公民館関係者・町内在住者

日程	9:30～10:00	受付
	10:00～10:20	開会行事
	10:20～11:50	講演
	11:50～13:00	昼食・休憩
	13:00～13:30	廃校になった学校校歌の紹介
	13:30～15:40	分館交流芸能大会
	15:40～16:00	ラッキー賞
	16:00	閉会

演題 「偶発性をデザインする」

～人口5000人の徳島県神山町はなぜ進化し続けるのか～

講師 認定NPO法人グリーンバレー 前理事長 (おおみなみしんや)
学校法人神山学園(神山まると高専)設立発起人 **大南 信也氏**



【プロフィール】

1953年徳島県神山町生まれ。米国スタンフォード大学院修了。1990年代初頭から、過疎化が進む故郷が生き残るための創造的な解決策を模索し、アートと環境を柱に地域と世界をつなぐグローバルな地域活性化を民間主導で展開。2004年「日本の田舎をステキに変える！」をミッションにグリーンバレーを創設。町営施設の指定管理や移住支援センターの運営を通じて、若者や起業家の移住促進。空き家等を活用したIT企業のサテライトオフィス誘致を推進し、雇用創出やリモートワークの流れを先導。2023年4月に開校した神山まると高専の設立に発起人として参画。

※ラッキー賞にて、各種賞品をお渡しいたします。
※会場内では「伝統文化継承・地域活性化等補助事業」の成果展示も行います。
※公民館大会は、どなたでも自由に参加・入場できます